

レカロシート取付説明書

HN2065-1901001

メーカー	車種	年式	型式	部品番号
ホンダ	N-VAN	2018/7~	HBD-JJ1.JJ2	2085.031.2

品質向上などのため、予告なしに一部の仕様を変更する場合があります。

レカロ株式会社

〒527-0066 滋賀県東近江市東原町 1570-1

レカロコール ☎ 0800-919-5881 受付時間 10:00 - 12:00 13:00 - 18:00

営業日 土日、祝日、弊社休業日を除く平日 ※IP 電話以外よりお掛けください。

http://www.recaro-automotive.com

※レカロ純正ベースフレームのマッチング情報はクラブレカロのホームページよりご覧ください。

http://www.club.recaro-automotive.jp

INSTALLATION MANUAL HN2065-1901001



* HN 2 0 6 5 *

確認 注意事項

この度は、レカロ純正ベースフレームをお買い上げいただきありがとうございます。

本製品は、レカロ株式会社が日本国内のアフターマーケット向けに販売しているレカロシートの車種別専用取付部品となります。必ず本取付説明書をお読みいただき、本書記載の注意事項や取り付け方法に従い、正しくかつ安全に使用してください。尚、レカロシートならびに本製品は、レカロ正規取扱販売店での取り付けを推奨しています。

誤った取り付け方法や使用方法での不具合などにつきましては、一切の責任および品質保証の義務を負いかねますのでご了承ください。また本製品は、実車をもとに採寸・設計しています。しかしながら車両の個体差や経年変化などにより車両フロア取り付け部分の寸法に差が生じる場合もあります。その際、本製品を加工・改造して取り付けることは大変危険ですので、絶対に行わないでください。

また、本製品に貼付されているラベルは、車検の際に必要な確認番号が記載されていますので、絶対に剥がさないでください。

主な作業項目

- (1) バッテリーのマイナス端子を外して放電させます。
- (2) 純正シートを固定しているフロアボルト及び各種配線(カブラーを)取り外します。
- (3) 純正シートを車外に取り出します。
- (4) サイドエアバッグ警告灯の消灯作業を行います。
- (5) 純正シートからシートベルトバックルを取り外し、それをベースフレーム本体のアンカーブラケットに取り付けます。
- (6) レカロシートにスライドレールを固定し、スライドレールにスライドレバーを取り付けます。
- (7) ベースフレーム本体にクロスメンバーを固定し、車内に入れてフロアに仮締めします。
- (8) 上記(6)で作業したレカロシートを車内に入れてベースフレーム本体に仮締めし、高さや角度を調節後ボルトを本締めします。
- (9) シートベルトの配線を繋ぎます。
- (10) フロア固定用のボルトを本締めします。

警告

レカロシート取り付け後、純正シートに内蔵されているサイドエアバッグの保護を受けることができません。

ボルト、ナット類の締め付け、及び取り外しの際には、サイズの合った工具を使用して安全かつ確実に行ってください。また締め付けトルクの指示がある場合には、必ず規定トルクで締め付けて下さい。

注意

シートの取り外しや取り付けなどを行う場合、ケガしないよう手袋などをはめて行ってください。またシートとフロアの隙間に手を入れる場合には、突起物などでケガしないよう十分に注意してください。

ドアトリムやコンソールボックスなどを傷つけたり、部品を破損したりしないよう注意してください。

電動シートやサイドエアバッグ付車両などのシート取り外しと取り付け作業をする場合、車両本体の取扱説明書に従って、バッテリーのマイナス端子を外し、放電してから配線作業を行ってください。尚、最近の車両は多様化された車載コンピューターが搭載されており、バッテリー端子を取り外す際は車両に不具合が発生しない様、予め車両の取扱説明書を確認の上作業をする様にしてください。

純正シートにハーネスコネクタがある場合には、車外へ持ち出す前に取り外してください。

確認 構成部品

ベースフレーム構成部品		数量	備考
①	ベースフレーム本体	2	ドア側 x1, コンソール側 x1
②	スライドレール	2	ドア側 x1, コンソール側 x1
③	スライドレバー	1	スライドレールに取り付け
④	キャップボルト	M8 x 25mm	4 ベースフレーム本体とスライドレールの取り付けに使用
⑤	キャップボルト	M8 x 20mm	4 シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑥	キャップボルト	M8 x 28mm	4 ※使用するボルトは、取り付けシートや使用スペーサー枚数によって異なります。
⑦	キャップボルト	M8 x 40mm	4 裏面、ボルト&スペーサー使用一覧をご参照ください。
⑧	キャップボルト	M6 x 30mm	6
⑨	キャップボルト	M5 x 12mm	4 クロスメンバーとベースフレーム本体の取り付けに使用
⑩	皿バネワッシャー	M8	4 ベースフレーム本体とスライドレールの取り付けに使用
⑪	ロックワッシャー	M8	4 シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑫	平ワッシャー	外径32mm	3 ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用
⑬	スプリングワッシャー	M6	6 シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑭	スペーサー	6mm	6 シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑮	スペーサー	7mm	8 シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑯	クロスメンバー	1	ベースフレーム本体の取り付けに使用
⑰	クロスメンバー用スペーサー	2	クロスメンバーとベースフレーム本体の取り付けに使用

シートベルトバックルアンカー取り付け用		数量	備考	
⑳	UNFボルト	1	シートベルトバックルの取り付けに使用 (㉔~㉖はセットになっています)	
㉑	UNFナット	1		
㉒	平ワッシャー	外径24mm		1
㉓	歯付ワッシャー			1
㉔	カラー	外径14mm		2
㉕	ウェーブワッシャー		1	

その他の構成部品		数量	備考
㉖	エッジプロテクター 210 x 150	2	ベースフレームエッジ部分の保護に使用
㉗	エアバッグキャンセラー	1	エアバッグ消灯作業に使用(赤色カブラー x 2含む)
㉘	フットブラケットカバー	2	ベースフレームレッグ部分のカバーに使用
㉙	ペロクロテープ	2	フットブラケットカバーのフロア固定に使用

確認 構成部品



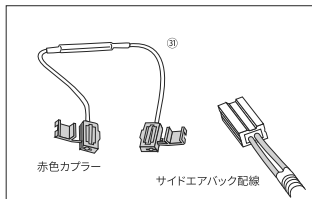
準備 純正シートの取り外し

純正シートの樹脂カバーやシート取り付けボルト、シートベルトバックルのコネクタなどを取り外して、純正シートを車外へ取り出します。

サイドエアバッグ警告灯の消灯作業

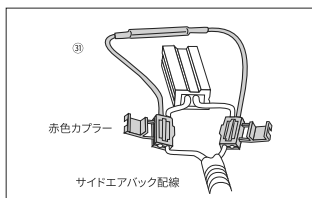
エアバッグキャンセラー⑨を使用してエアバッグ警告灯の消灯作業を行ってください。

誤ってエアバッグ警告灯が点灯した場合には、自動車ディーラーでの消灯作業が必要となります。



車両フロア側サイドエアバッグの配線に付属のエアバッグキャンセラー⑨を割り込ませ、フロア側からの信号が付属のエアバッグキャンセラー⑨を通るようにします。

⑨ エアバッグキャンセラー

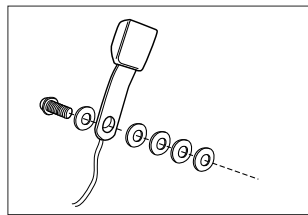


付属の赤色カバーを使用して、車両フロア側サイドエアバッグの配線と付属のエアバッグキャンセラー⑨をそれぞれ挟み込むようにして短絡させます。

⑨ エアバッグキャンセラー

取付 シートベルトバックルの移動

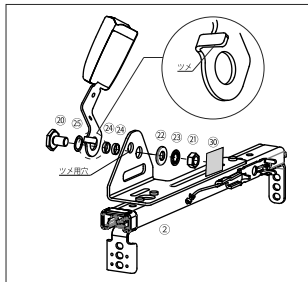
シートベルトバックルの取り外し



純正シートに装着されているシートベルトバックルを取り外します。

シートベルトバックルとつながっているコネクタもカバーから取り外します。

シートベルトバックルとアンカーブラケットの組み付け (コンソール側)



付属の取付部品を使用して、取り外したシートベルトバックルをスライドレール②のアンカーブラケットに下記締め付けトルクにて取り付けます。
付属のエッジプロテクター⑩を適当な大きさにカットしてUNFナット②の表面とシートベルトバックルのツメ先端に貼り付け、シートとの干渉から保護します。

- ② UNFボルト
 - ② UNFナット
 - ② 平ワッシャー 外径24mm
 - ③ 歯付ワッシャー
 - ④ カラー (x2)
 - ⑤ ウェーブワッシャー
 - ⑩ エッジプロテクター
- ※締め付けトルク
UNFボルト 44 ± 4 Nm

取付 ベースフレームの固定

- レカロシートにスライドレールを固定します。(回機のベースフレーム補足取付説明書参照)
- スライドレールにスライドレバーを固定します。
- ベースフレーム本体にクロスメンバーを固定します。
- ベースフレーム本体を車内に入れフロアに仮締めします。
- レカロシートを車内に入れベースフレーム本体に仮締めします。
- シートベルトバックルに繋がっているコネクタを車両フロア側コネクタと繋ぎます。(下記注意参照)
- 注意しながらシートに座り、高さや角度を調節します。
- ベースフレームレッグ部がフロアカーパーット等を挟み込んでいない事を確認し、全てのボルトを下記の締め付けトルクにて本締めします。(下記注意参照)
- 付属のエッジプロテクターを適当な大きさに切り、ベースフレームのエッジ部、フロア固定ボルトとフロアカーパーットの隙間を隠すように貼り付けます。(下記注意参照)

① シートベルトバックルのコネクタが外れている状態では、イグニションスイッチをONにしないでください。エアバッグ警告灯が点灯する恐れがあります。

② フロアカーパーットを挟み込む場合はボルト緩みの原因となりますので当該箇所のカーペットを切ってください。

③ むき出しのエッジに体の一部がぶつかると思わぬ怪我につながる恐れがありますので、必ずエッジプロテクターを使用してください。

ボルト&スペーサー使用一覧 (内レバータイプ)

下記一覧は取り付けシートに最低必要なボルトとスペーサーとなりますので、参考にしてください。

取り付けシート	使用ボルト	使用スペーサー
Lシリーズ、SR(L-V)、ERGOMEDシリーズ、ORTHOPAD(レカロヴェント付 2010/10迄)	M6 x 30mm 6本	-
ORTHOPAD(レカロヴェント付 2010/11以降)	M6 x 30mm 6本	6mm
CT、C-Classic、ORTHOPAD(レカロヴェント無)	M6 x 30mm 6本	6 + 7mm
SR-6、SR-7、SR-11、LX-F	M8 x 20-28mm 4本	-
TREND/STYLE/SPORTシリーズ(JS除く)、SP-X、Sportster	M8 x 28mm 4本	6mm
TREND/STYLE/SPORTシリーズ(JSモデル)	M8 x 28mm 4本	6 + 7mm
CSシリーズ、コンフォード、Cross Sportster	M8 x 40mm 4本	6 + 7 + 7mm
SP-G、SP-A、SP-GN、SP-AN	※1 M8 x 28-30mm 4本	6mm
TS-G、TS-W、RS-G、RS-W	※1 M8 x 28-30mm 4本	6 + 6mm

※1 レカロ純正サイドアダプター(別売)付属のボルトセット使用

締め付けトルク	
M5	5.4 ± 1 Nm
M6	9.2 ± 1 Nm
M8	24 ± 2 Nm
M10	44 ± 4 Nm
M12	44 ± 4 Nm

① ボルト径に合ったトルクで確実に締め付けてください。規定以上のトルクにて締め付けた場合破損の恐れがありますのでご注意ください。

取付 ベースフレームの固定

下図のベースフレームの形状は、参考イメージで実際のモノとは異なる場合があります。

ベースフレームとスライドレバーの取り付け

スライドレバー③の穴をスライドレール②のツメ部に差し込みながら、スライドレバー③をフックに固定します。

※スライドレバー③には、長さが調節できるよう3つの穴があります。

① ベースフレーム本体
② スライドレール
③ スライドレバー
④ キャップボルト M8 x 25mm
⑤ キャップボルト M5 x 12mm
⑥ 血バネワッシャー M8
⑦ 平ワッシャー 外径32mm
⑧ クロスメンバー
⑨ クロスメンバー用スペーサー
⑩ フットブラケットカバー
⑪ ベロクロテープ
⑫ 純正ボルト

※ 締め付けトルク
M5 5.4 ± 1 Nm
M8 24 ± 2 Nm
M10 44 ± 4 Nm

フットブラケットカバーの取り付け (フロント側)

付属のベロクロテープ⑪を適当な大きさにカットし付属のフットブラケットカバー⑩の底側に貼付します。フットブラケットカバー⑩を折り曲げたり、ハサミでスリットを入れたりして、ベースフレームのフロント側レッグ部分2箇所にそれぞれ目隠すようにカバーしてください。